

# 本部かわら版

発行責任者  
神奈川県隊友会  
事務局長 久保内 修一



## 会務報告

県隊友会事務局

本年3月発行のかわら版(51号)以降、  
県隊友会としては次のような事業を実施  
しました。

1 年度末報告等の作成及び監査受検

(4月30日)

2 第1四半期県理事役会(5月11日  
地本試験室)

3 定期総会(6月15日 労プラ)

次第は、開式後、国歌斉唱、黙とう。会長  
挨拶、本部及び県本部からの感謝状並びに表  
彰状の伝達が実施されたのち議案審議に移  
りました。

議案審議は次ぎのとおりなされ原案どお  
り可決されました。

これらの議案の細部は県隊友会ホームペ  
ージ「総会・理事役会」に掲載しておりますの  
でご覧下さい。

第1号議案①令和5年度事業報告

②令和5年度決算報告

(監査報告)

第2号議案①令和6年度事業計画

②令和6年度予算

第3号議案①令和6年度県理事役・監事役

②令和6年度県代議員

### 第4号議案 県隊友会規則の改定

県規則第31条(寄付金)

(1) 第2号議案①で承認された令和6年度県  
隊友会事業計画のうち、当面の計画事項は  
次のとおりです。

・本部定時総会等への参加(会長)

(6月24・25日、市ヶ谷)

・第一回安全防災部会(7月6日)

・地域代表世話人会(7月下旬)

・九都県市総合防災訓練(9月初旬横浜・  
川崎・相模原)

・第2四半期県理事役会(9月7日)

(2) 第3号議案で承認された、新役員は次の  
とおり。

・県本部推薦の監事役(1名)

矢木 信利(横須賀支部)

・支部推薦の理事役(1名)

高橋 栄行(武山三浦支部)

(3) 報告連絡事項

・県隊友会会長の交代

佐々木 俊也理事が第14代会長就任

松岡 貞義会長が県相談役に就任

4 三団体合同防衛講演会・懇親会

(6月15日 労プラ)



### 三団体合同防衛講演会及び懇親会

6月15日、神奈川県労働プラザにおいて令和6  
年度県隊友会総会の後、自衛隊神奈川県家族会及び  
神奈川県郷友会の三団体合同で、防衛講演会及び合  
同懇親会を実施しました。

防衛講演会は、「中国軍の動向と我が国の対応」  
と題して笹川平和財団上席フェロー 小原 凡可氏

の講演で、150名以上

が聴講しました。国際社

会がウクライナとロシア

の戦争やイスラエルとハ

マスの戦闘にふりまわさ

れているなか、我が国の

安全保障に最も影響の大

きい「中国の台湾進攻の

可否」等について中国人

の国民性を理解した上で

の鋭い視点からの情勢分析による時宜にかなった

内容で瞬く間に予定の時間が過ぎ去りました。

また、防衛講演会に引き続き懇親会を実施し、星

野剛士衆議院議員、三谷英弘衆議院議員、三浦信祐

参議院議員、現役自衛官では、海自横須賀地方総監

部幕僚長 金刺基幸海将補のほか多数の来賓を迎え、

佐々木隊友会会長の挨拶、中條家族会会長乾杯の音

頭で和やかに進行し、金子郷友会会長の関東の一本

×で隊友会、家族会、郷友会の連携を確認

し盛大なうちにお開きとなりました。

(事務局)



合同懇親会佐々木新会長の挨拶



防衛講演会



「接待とお接待」について

前県隊友会会長 松岡貞義



横須賀市米が浜通りに料亭「小松」があった。「小松」は明治十八年（一八八五年）開業以来、帝国海軍軍人に「パイン」の愛称で愛好され、請

われて南洋にまで支店を出すほど繁盛したそうである。戦後も海軍関係者、在日米海軍や自衛隊関係者などに広く利用されてきた歴史があり、海軍料亭と呼ばれていた。しかし、平成二十八年（二〇一六年）五月十六日に火災により全焼した。私も横須賀での勤務時に上司の同行や、会議後の懇親会等で何度か訪れた。料亭において有名な海軍提督が使った長官部屋を利用する機会や彼らの揮毫した掛け軸などを眺めた思い出がある。



料亭 小松

かつての帝国海軍の鎮守府所在地である呉、佐世保、舞鶴にも海軍料亭として有名な料亭があったが、今も営業を続けているのは、呉の「五月荘」だけではないかと思う。何故こうした老舗料亭が店を閉めることになったのか、その最大の原因は、地元の名士、有力企業、市役所、警察、自衛隊関係者などの利用が減少したこと、特に「接待」目的での利用が減少したのも一因と言われている。

「接待」というと三味線が流れる高級料亭、政界の駆け引き、談合、贈賄など政治や商売の手段としての悪いイメージを連想しがちであるが、一般的に「接待」とは、「茶や食事などをふるまい、客をもてなすこと」をいう。「コミュニケーション」の場をつ

くり、もてなす相手と良好な関係を築くことが目的であり、ビジネスにおいては、新たな仕事の獲得や進行中のビジネスを円滑にするために有効な手段でもある。つまり、利害がからむのがビジネスにおける接待の特徴といえる。そのため、お茶や食事のみならず、酒席やゴルフなど、相手の趣味嗜好に合わせたさまざまな接待方法が用いられている。しかし、公務員が利害関係のある企業の接待を受けることは、原則として禁止されており、官僚と企業の接待問題がニュースで大きく取り上げられたのは、公務員と民間企業という関係性に問題があったからである。昭和の時代には大蔵省などの役人特に予算を査定する主計局の役人などを地方の部隊に招待し、風間は部隊の老朽施設などの実情を視察してもらい、夜は地元の料亭等で接待する所謂「官官接待」は、厳しい防衛予算を獲得するための努力として行われていた。当然そうした接待の場所として老舗の海軍料亭も使用されてきた。また、自衛隊だけでなく市役所や警察も同様に県の役人等の「官官接待」に使用してきたのであるが、時代と共にこうした接待も少なくなってきた。加えて、部内の歓迎会や懇親会で老舗料亭を使用してきた地元企業や官庁等が他の飲食店に比べて料金の高い料亭の利用を敬遠するようになってきたのも老舗料亭の経営を悪化させた要因であると思われる。

一方で、「接待」に「お」をつけた「お接待」は、お遍路にまつわる四国の文化である。「お接待」とは何の見返りも期待せずに、通りすがりのお遍路さんに親切にすることを言う。私も、遍路道を歩いている時に何度も「お遍路さん」と地元の人に呼び止められて、飲み物や果物などを頂いた。離れる際には、「気をつけてお参りしてください」となど声をかけてくれた。また、遍路宿や民宿に泊まった際には朝の出発時に朝食のおにぎりや飲み物のお接待を受けた。

私が受けた特に印象深いお接待の事例を、二つ紹介したい。一例目は、四国霊場中最大の難所のひとつ、徳島の十二番札所「焼山寺」に向かう前日、吉野川市の旅館に投宿した。夕食時には話好きな宿のご主人と相性が合い、明日登る焼山寺の遍路転がしの道案内やお互いの半生などを夜遅くまで話し込んだ。翌朝出発時には朝食の握り飯をお接待された。遍路転がしの山道に入り、噂に違わず厳しい登りの道を汗びっしょりになって中間地点の湧水の出る柳水庵に着き、朝食をとることにした。早速宿のご主人からお接待された握り飯を食べようとして包みを開けると、中にご主人の手紙が添えられていた。宿泊のお礼に続き、四国の人との触れ合いを大切にしたいと結願することを願う内容であった。その温かい心遣いに思わず込み上げる熱いものを感じながら有り難くおにぎりを頂いた。その手紙は今も大切に保存している。

一例目は、松山市郊外の五十二番札所「太山寺」を打った後、次の札所に向け歩いている途中、公民館に近づくくと、地元の人から「子供達がお接待の体験をしていますので公民館の中に入ってください」と公民館内に案内された。毎月一日と二日の日に老人会がお接待を行っており、その日は子供達にお接待の体験をさせているとのことであった。館内で子供達からカレーライスと冷やしうどんを配膳され、楽しく話をしながら一緒に頂いた。朝食を終えて出発する際には、老人と子供さんが外に出て見送ってくれたのも懐かしい思い出である。こ



松山市内の公民館内でのお接待

うした四国の素晴らしい文化を次世代の子供達に伝えようとしている地元の人たちの努力に改めて敬服した。



### 「お爺さん臭くない歩き方」

県本部 監事役 寺田信夫



一 久しぶりに時間制約のない散歩に出かけました。

予定もなく、天気も良かったのでゆつくりとした気分で横浜の金沢区

六浦地区の散策に出かけました気温も20度位で、早歩きすると汗が出る

で、早歩きすると汗が出る ぐいぐいで、運動用のハーフパンツとTシャツ姿です。何故か、今日は身体をリフレッシュしたい気持ちになりました。歩きながら、何を意識すれば少しでも若々しい姿勢を維持できるであろうかと考えました。

身体を垂直に維持することが重要であろうと考えました。このためには、①「背筋を真っ直ぐに伸ばす。」、②「顎を引くこと」、③「お腹を引くこと」、④「肩の力を抜き軽く手を振ること」、⑤「視点は10m程度程度前方に維持すること」これらが重要です。短時間で、身体的故障がなければ、大半の人は実施出来ます。

### 二 年齢を重ね、身体的能力が低下した高齢者の歩き方。

高齢の人で姿勢が悪い人は、どこか身体に悪い箇所があり、痛いところを庇い、耐えうる姿勢で歩きます。これが、また、更に身体のごくかに負担を任せ、苦痛となります。姿勢が悪いまま、あるいは悪い所抱えたまま歩く訓練は逆効果

で成果は上がりません。悪いところは、補正することが大事です。左右の足の長さに差が出て来た場合(軟骨が痛み手術等をした人等)は、靴の下敷きで少しでも調整しましょう。体重がありすぎる人は、食べ過ぎを改善しましょう。

### 三 短時間の矯正歩き

身体の何処かに悪いところある場合、痛いところをかばった楽な姿勢で長時間歩くのでなく、短い時間でも良いから、正しい姿勢で歩く努力をしましょう。そうすれば、少しずつ、正しい姿勢が身に付きます。

### 四 前向きな気持ちの保持

気持ちの高揚あるいは落ち込みは、それが歩く姿に明確に現われます。ですから、意図して、今日は爺さん臭くない歩きをするぞと意識を持って歩き始めることが重要です。そうすれば、ある程度疲労するまでは、張りのある姿勢で歩くことができます。疲労して姿勢が乱れたら、また、思い直し姿勢を保持して歩きましょう。

### 五 靴を身体と年齢に合った物にしましょう。

昔の革靴、運動靴で歩いていませんか？最近では軽くてリズミカルに歩けるスマートな運動靴が沢山売っています。紐がなくても履けるものを選びましょう。なぜなら、軽くて気楽に履けて運動出来るからです。

### 六 最後に

まかり間違っても、腰の後ろで手を組んで、少し背中を丸めて歩くことは止めましょう。私は、爺さんです。と主張しているのと同じです。多くの事を言いましたが、少しでも努力していれば成果は現れます。皆さん頑張らしましょう。



### 台湾での「申し訳ない・・・」

西湘支部 廣井 淳



昭和五十六年(1981年)三月から二年少し台北市に住んでいました。短期語学留学の現地受け入れスタッフとYWCAの日本語

の講師として勤めていました。この年の夏の中国語短期留学(四週コースと六週コース)は東京発と大阪発に別れて出発するため私は一時帰国して成田からノースウエスト航空で東京組十数名を引率しました。当日は飛行機の到着が遅れ、さすが「遅れのノース」と言っていました。台北国際空港の門限に間に合わないのか次の伊丹空港の離陸時間がダメなのか説明が良く分かりませんでした。(日本語でした)でも成田は出発すると言っているので一同喜んだら飛行中に「伊丹に降りて一泊して頂きます。」とアナウンス。オイオイ・・・伊丹空港に着いてホテルの割り振り等がありました。

ホテルは良いホテルでしたが時間が二十一時頃で飲食店が閉まっている。居酒屋風の店でお好み焼きを食べました。ちなみに大阪組は早い時間に欠航を知らされたので豪華なディナータイムを楽しんだとのこと。この空港では「責任者を出せ」と叫んでいるお兄さん達がいきました。みごとに説明と案内が行き届かない。翌日も朝飛んでくれる訳ではないので午後になり台北国際空港に着いたら夜で土砂降り。出迎えるバスに乗りそこから二時間弱の台北市北部の中国文化大学の寮へ向かいました。(実は女子寮)今回の研修の売りは夏休みまで空いている大学の寮を使って(安く上がる上に普段できない経験ができる)日本文学の学生がユニークな授業を受けること。これは、この学校で

プロの先生に教わるのと違って学生が教えるので教える技術が劣る、なまりがあるという心配がありました。

大雨の中を中国文化大学に到着した私達を驚かせてくれたもの、鉄の二段ベットに薄べりだけの寢室。マットレスとかは寮生が持って帰ってしまった。ここにはない(みずしらすの日本人に使われたくないのでしょ)寮なのでとは机があるだけで簡素です。さて部屋割をして十分程したら女子を中心に私と大阪組のリーダーがいる部屋にかなりの人数がおしかけてきました。主催者で現地の対応に当たっていた人は姿を見せず私と大阪組のリーダーがやいのやいのと文句を言われましたが今この時点でどうにかできるものでもなく明日主催者と連絡をとって対処するので今日のところは我慢して下さい、という事で取り敢えず何とか。今と違って連絡が簡単にとれないので致しかたない部分もあるけれどせめて何日か前にこの状況を国際電話で伝えてくれたらもう少し良い対応ができたと思います。

さて本題。ここで頭を抱えたのはある全国ネット放送局の幹部の方が四日ほど遅れて参加すること。この住環境でどうしよう。(食についてはかなり良かったので問題なし)考えていても仕方がないので皆で謝ろうと決め、寮にみえた時みんな「ベッドが薄べり一枚で申し訳ありません」と頭を下げたらなんと「戦時中のことを考えたらなんでもないですよ」この方は小学生時代を台湾で過ごされたので今回参加されたのでした。どれだけ苦情を言われるかとビクビクしていたので意外でした。学生はいいけど社会的地位のある方にはまずいな・という考え方も良くないですね。しかし何事かおきると戦前派戦中派の方は強い。その後みなさんこのベットにもなれて楽しく過

ごしてくれました。時はどうなることかと思いましたがなんとかなるものです。

写真を一枚添付しました。これはかなり前隊友新聞に「なんで写真撮ってちゃいけないのですか」という記事を投稿した際に説明用につけたものです。中央の人物は憲兵です。戒厳令下ですので街角に警察官と別に立っています。



戒厳令下 台北市の憲兵

### 西湘支部だより

一 去る、令和六年五月二五日午前十一時から正午まで小田原市市民交流センター「ウメコ」で西湘支部の総会を行いました。

支部会員数は四六ですが、出席者は支部長を含めて二名で出席の回答がありました。が直前で欠席の申し出をされた会員の方が三名おられました。欠席の回答をされた会員の方は二名でしたが各議題への同意者は二二名でしたので総会は成立しました。未回答者は一八名でした。



総会終了後、自衛隊家族会小田原地区会合同で来賓の方を含む一一名で意見交換会(懇親会)を行い、大いに盛り上がりながら終了しました。

二 今後の西湘支部のあり方について  
西湘支部で総会、新年会、神奈川県隊友会湘南支部との合同企画した安全保障トークサロンへの参加者はいつも決まったメンバーで以前から各行事に参加しておりました。会員の方々も高齢になったことから各行事に参加される機会も少なくなっております。現在の会員で健康上問題のない方々に各行事に参加して頂きまして西湘支部の活動を盛り上げて貰いたいと思っております。

現在のまま、活動が盛り上がりがない状況が続きましたら、西湘支部を他の支部と合併統合を図って行きたいと思っております。



総会で松岡前会長から表彰される廣井淳理事(西湘支部)

### 編集後記

今、昔の感心は何でしょうか?国会の解散時期?七夕の東京都知事選?7月末のパリオリンピック?平和な日本お祭り騒ぎで集結でしょうか?

皆様のご協力により無事かわら版52号を発行することが出来ました。ご投稿いただいた皆様に感謝申し上げます。引続き皆様からの原稿の投稿をお待ちしております。特に、西湘支部の方からの投稿をお待ちしています。



まもコン

編集子